

新清掃工場整備運営事業等について

■ 新清掃工場建設地周辺住民への対応について

経過		
	令和 2 年 6 月	「建設工事に関する説明会」の代替措置として「立川市新清掃工場の建設工事に関するお知らせ」を建設地周辺地域に配布
	令和 2 年 7 月 29 日	第 37 回立川基地跡地利用施設検討委員会の開催
	令和 2 年 8 月	施設検討委員会ニュースの発行(第 35 号)
	令和 2 年 10 月 12 日	立川基地跡地利用施設検討委員会 現場見学 参加者 6 名
	令和 2 年 10 月 21 日	第 38 回立川基地跡地利用施設検討委員会の開催
	令和 2 年 11 月	施設検討委員会ニュースの発行(第 36 号)
	令和 2 年 12 月	新清掃工場整備ニュース(第 11 号)
	令和 2 年 12 月 16 日	第 39 回立川基地跡地利用施設検討委員会の開催
	令和 3 年 1 月	施設検討委員会ニュースの発行(第 37 号)
	令和 3 年 3 月 9 日	第 40 回立川基地跡地利用施設検討委員会の開催
	令和 3 年 3 月	施設検討委員会ニュースの発行(第 38 号)
	令和 3 年 6 月 21 日	第 41 回立川基地跡地利用施設検討委員会の開催
	令和 3 年 7 月	施設検討委員会ニュースの発行(第 39 号)
		新清掃工場整備ニュース(第 12 号)
	令和 3 年 9 月 28 日	第 42 回立川基地跡地利用施設検討委員会の開催
	令和 3 年 10 月	施設検討委員会ニュースの発行(第 40 号)
今後の予定		
	令和 3 年 12 月	第 43 回立川基地跡地利用施設検討委員会の開催
	令和 4 年 9 月頃	運営事業に関する説明会
		※ 現場見学会の実施時期・方法等については検討中

■ 新清掃工場建設について

経過		
	令和 2 年 4 ～ 5 月	埋設ケーブルに関連し追加で土壌調査を実施
	令和 2 年 6 ～ 7 月	仮設事務所、資材置き場等の整備
	令和 2 年 7 月 27 日	着工
	令和 3 年 2 月 18 日	新清掃工場整備運営事業 施設整備工事 変更契約 締結
	令和 3 年 6 月	新清掃工場の施設名称を「立川市クリーンセンター」と命名
	令和 3 年 7 月 25 日～8 月 16 日	緩衝帯等整備方針 市民意見公募
	令和 3 年 7 月 25 日～8 月 31 日	立川市クリーンセンター 愛称の募集
今後の予定		
	令和 4 年 4 月	立川市クリーンセンター 愛称の公表
	令和 4 年 10 月～令和 5 年 2 月	焼却炉試運転
	令和 5 年 2 月 28 日	竣工
	令和 5 年 3 月 1 日	運營業務委託開始（供用開始後、用地の譲与申請）
	令和 5 年度以降	敷地内北側、緩衝帯等整備（緩衝帯、緑地、防災機能を持つオープンスペース）

■ 緩衝帯等基本設計

・ 緩衝帯等整備方針 ～導入機能とゾーニング～

■ 導入機能

憩い・みどり・防災の3つの取組方針に基づき、以下の機能を導入します。

憩い

休憩	地域の人が日常的に立ち寄り、快適に休憩できる場とします。
イベント	新清掃工場と連携した環境啓発イベント等に活用できる場とします。
アクセス	都市計画道路国営公園西線や残堀川遊歩道を通行する歩行者や、昭島市立むさしの公園や新清掃工場の利用者のアクセスを確保します。
散策	緩衝帯等内を自由に散策できる動線を確保します。

みどり

環境の保全	新清掃工場の施設ボリュームを緩和し、環境の保全に寄与します。
景観の調和	周辺のみどりと調和し、良好な景観を形成します。
みどりの連続性	周辺のみどりと連続性を確保し、一体的なみどりの空間を形成します。
環境学習	新清掃工場と連携し、新清掃工場の役割と仕組みや、ごみ処理体制についての環境学習等に活用できる場とします。

防災

復旧活動の支援（後方支援）	他自治体等からの派遣職員の活動拠点として、復旧資機材等の置き場等となる空間を確保します。
防災の普及・啓発	新清掃工場と連携した防災の普及・啓発イベントや訓練等を行うことができる場とします。
エネルギー供給	災害時に新清掃工場からエネルギー（電力等）を供給し、防災活動を支援します。

■ ゾーニング

敷地周辺の概況等をふまえ、導入機能の配置を検討し、ゾーニングを設定します。

広場

休憩やイベント、災害時利用、駐車場等の多様な活用ができるよう、中央部にまとまった広場を確保します。

エントランス

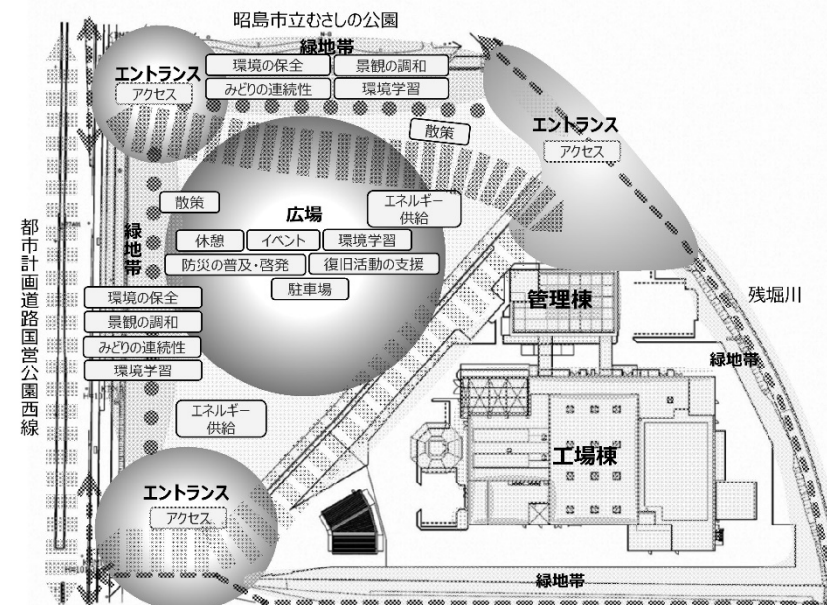
敷地外周の動線をふまえ、敷地に気軽に立ち寄ることができるよう、エントランスを都市計画道路国営公園西線側に2箇所、残堀川遊歩道側に1箇所設けます。

緑地帯

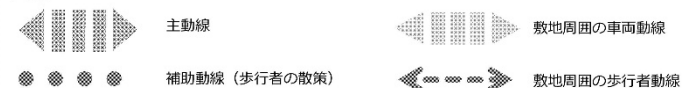
周辺とのみどりの連続性や景観の調和を確保するため、敷地周囲に緑地帯を確保します。

動線

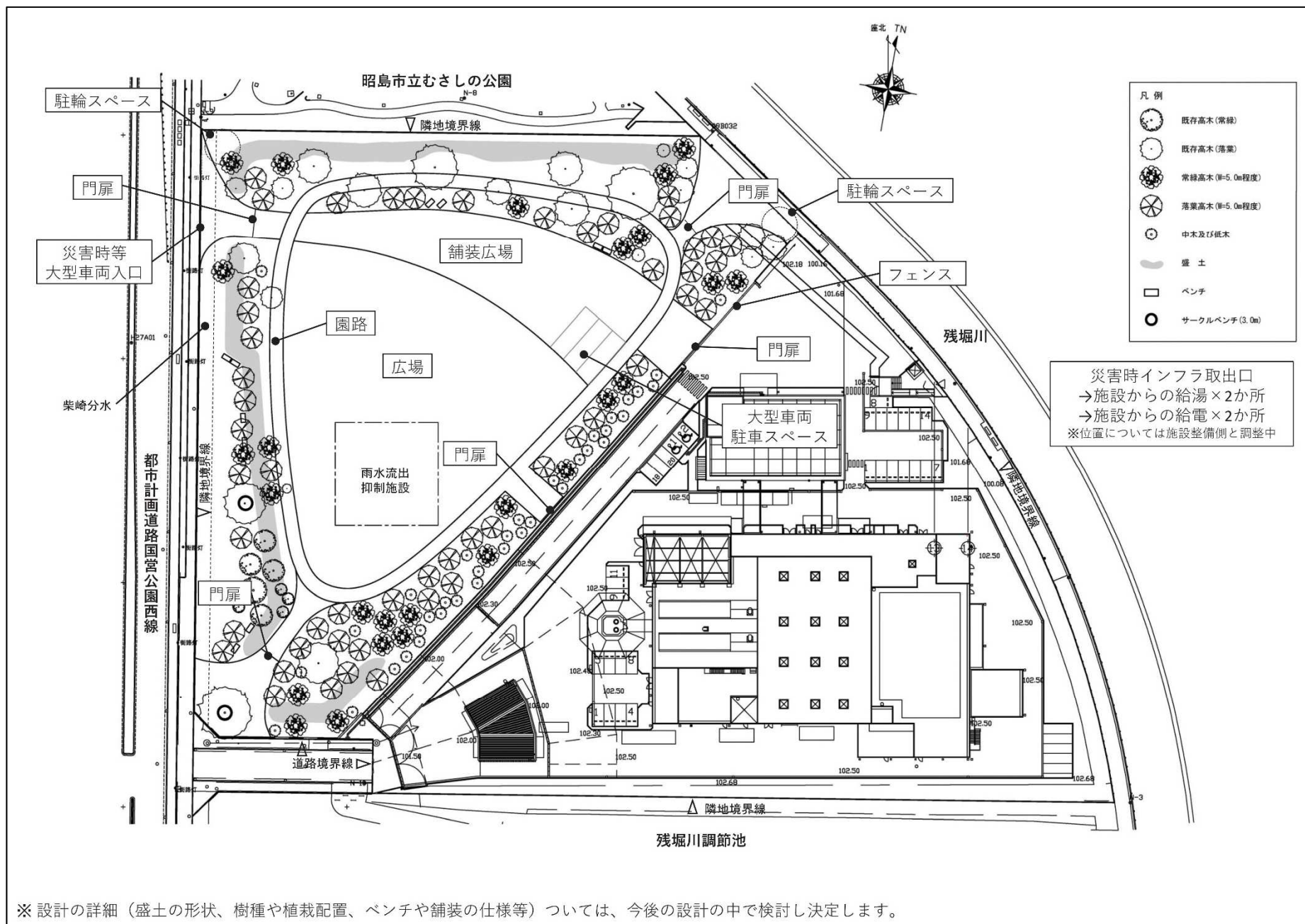
平常時、災害時ともにエントランスから新清掃工場への経路となる動線を主動線とします。緩衝帯等内を散策できる動線を補助動線として確保します。



凡例



・ 緩衝帯等整備方針を踏まえた基本設計(案)の概要



■ 進捗状況

(令和3年8月23日 現場写真)



(令和3年11月30日 現場写真)

